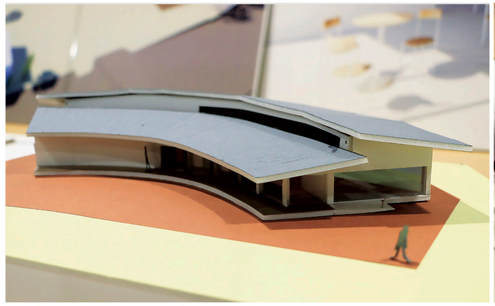
（仮称）歴史観光交流センター基本設計終了
令和9年春オープンに向けて実施設計（詳細図面などの作成）へ



▲歴史観光交流センターの完成予想模型。役場庁舎1階町民ロビーに展示しております。

基本設計が終了

旧伊達郡役所を中心とする「歴史文化エリア」の整備については、これまで、町民アンケートの実施や町民説明会の開催、町議会や有識者・町民代表で構成する「都市再生整備計画（第2期）策定委員会」からのご意見などをもとに検討を進めてきました。

基本構想の「情報発信」「地域連携」「歴史観光」という3つの機能を基に、建物の位置・向き、間取り、構造、外観について大枠を定める基本設計が9月末に完成。種徳美術館跡地に整備する施設の全体像、イメージ図をお知らせします。

▲内観イメージ

町の魅力を伝える3つの機能

1 情報発信 ▶ 観光案内
■町内外からの来訪者に対し、町内の歴史施設や観光施設などを案内
観光・歴史施設へ誘導/商店街へ誘導(特産品紹介)/パンフ配置/デジタルサイネージ

2 地域連携 ▶ 販売・休憩
■町産物品・グッズ販売
町グッズ・6次化商品、町内特産品販売
■カフェ
・飲料などの提供

3 歴史観光 ▶ 常設展示・収蔵
■町の歴史観光・美術品を中心に、展示コーナーを設ける
歴史展示/デジタル展示/歴史資料、美術品展示（種徳美術館より継承）
■歴史関係冊子の設置

一体的に運用
旧伊達郡役所の機能
■基本機能 ▶ 企画展示
・町の歴史展示など
■発展機能 ▶ 魅力向上
・「郡役所保存活用計画」策定の中で活用方法について検討

（例）写真撮影スポット設置

◆整備の流れ

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
基本検討	→	→	→				
基本構想				→			
基本設計					→		
実施設計					→		
建築工事						→	
移転・利用開始							→
南側敷地整備							→

詳細は、町ホームページ（左記二次元コード）をご覧ください。

今後の予定

今年度下半期の実施設計では、基本設計を基に、詳細図面などを作成していきます。また、令和8年度からの建築工事に向け、敷地測量や外構設計なども引き続き進めていきます。

発想力や行動力を活かして地域活性を
聖光学院高等学校と包括連携協定締結

▲（上段左から）本多輝久総合政策課長、佐藤浩哉教育長、三瓶航教諭、町観光大使ホタピー（下段左から）田中香代子副町長、高橋町長、新井校長、橘内夏音生徒会長

町と聖光学院高等学校による包括連携協定の締結式が8月20日、役場で行われました。この協定は、地域の特色を活かした地域活性化をはじめ、教育、健康・福祉、地域産業などの分野において、相互に連携・協力を図り、若い世代の発想力や行動力を発揮し、個性豊かな地域社会の創造・発展に寄与することを目的としています。新井秀校長は「本校では、自発的に探究し人前で発表できる生徒像を掲げている。地域の発展を目指すとともに、生徒らが学びのフィールドを広げていくことを期待する」とあいさつ。今後町は同校と、さまざまな連携事業を展開していきます。

全国大会での活躍に期待
激励金贈呈式

全国大会出場が決まった選手への激励金贈呈式が8月27日、役場で行われ、佐藤教育長が「持てる力を存分に出し切り、さらなる活躍を期待しています」と激励しました。各種大会の出場選手は次のとおりです（敬称略）。

▼第13回ヤングリーグジュニア選手権大会　幕田啓仁（ひろと）▼第93回日本高等学校選手権水泳競技大会　山木紬（つむぎ）▼第79回国民スポーツ大会　バウンドテニス競技　菅野真由美▼ねんりんピック岐阜2025　大槻佳子（よしこ）

▶教育長から激励金を受け取る幕田さん(中)、大槻さん(右)

▶勝利を目指して意気込む榊監督(左)と羽根田監督(右)

軟式野球・ソフトボールチーム
激励金贈呈

「第19回市町村対抗福島県軟式野球大会」「第12回市町村対抗福島県ソフトボール大会」に出場する桑折町チームへの激励金贈呈式が9月2日、役場で行われました。榊有紀博監督（野球）と羽根田太陽監督（ソフト）は「ベスト8を目指す」「初戦突破を目指す」と抱負を述べました。野球は9月14日にあいづ球場で南会津町と、ソフトボールは10月5日に相馬光陽ソフトボール場で新地町と対戦予定です（試合結果は次号掲載予定）。